

SEIYUKO GYO

2024 CSR 報告書



SEIYUKOGYOは 3つの事業・サービスにより 日本の都市更新を支える企業です



CONTENTS

成友興業の事業について	1
SEIYU BEST AWARD 2023	3
ALL JAPAN でのリサイクル・環境エンジニアリング事業の取り組み	5
都市更新を支える現場紹介	7
建設事業で働く、活躍する女性たち	9
人的資本と女性活躍の取り組み	11
ダイバーシティの推進・数字で見る成友興業	13
SEIYU のイロイロ TOPICS	15
トップメッセージ	17
企業理念・CO ₂ 削減目標	19
株主・顧客の皆様との対話・ガバナンス	21
安全への取り組み	23
マテリアルバランス・有識者意見・編集方針	25



1 建設事業

東京都内を中心に、国土交通省や
東京都発注の土木工事の施工管理部隊

2 環境事業

収集運搬から、中間処理、
再資源化まで、ワンストップ体制で
サービスを提供

3 環境エンジニアリング事業

土壤汚染対策法に基づき、調査・コンサルティングから
浄化処理までのソリューションを提案



建設人材育成優良企業表彰 国土交通大臣賞



国土交通省と建設産業人材確保・育成推進協議会が主催する「建設人材育成優良企業表彰」に応募し、この度最高ランクである「国土交通大臣賞」を受賞しました。本表彰は昨年より開始され、第1回では優秀賞を頂き、昨年に引き続き2年連続での受賞です。建設人材育成優良企業表彰とは、建設産業の担い手の確保及び育成に向けた取組の推進を図るべく、建設キャリアアップシステムをはじめとして、技能や経験に応じた給与の引き上げや、キャリアパスに基づいた計画的な人材育成、これらを可能にするための環境整備など、顕著な功績を挙げている企業を表彰するものです。

リデュース・リユース ・リサイクル推進協議会 会長賞



「令和5年度リデュース・リユース・リサイクル(3R)推進功労者等表彰式」が行われ、3R推進協議会会長賞を受賞しました。2019年に当社あきる野工場が同表彰を受賞して以来、4年ぶり4度目の受賞です。今回の受賞は、産業廃棄物を付加価値の高い再生資材へのリサイクルに取り組んでいること、公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団と情報共有を行いながら、業界における品質向上や循環型社会構築等へ足並みをそろえて取組んだことや、東京都内では洗浄分級処理が難しいとされている土壌について、多段階のふるい分け処理により、砂を回収している点などを多角的に評価頂き、受賞へつながりました。

SEIYU BEST AWARD

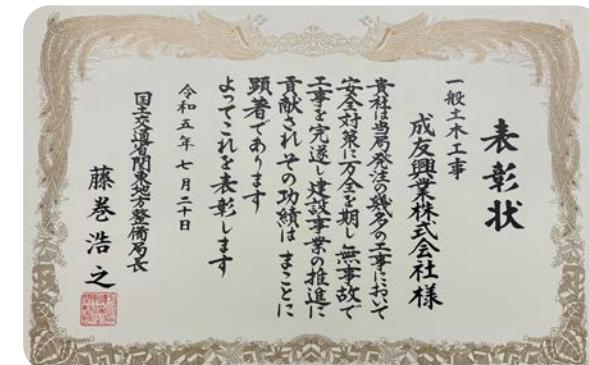
2023

安全管理優良受注者表彰

国土交通省関東地方整備局

令和4年度優良工事等局長表彰 安全管理優良受注者表彰として国土交通省関東地方整備局より表彰されました。

この表彰は、建設現場の生産性向上や働き方改革に資する効率的な取り組みを行い、また、幾多の工事において無事故で工事を完遂し建設事業の推進に貢献した功績を認められた結果です。一昨年、昨年に引き続き3年連続での受賞です。



建設局優良工事等表彰

令和5年度建設局優良工事等表彰として東京都建設局長より表彰されました。

表彰対象工事は「路面補修工事（4北南の3）」「電線共同溝整備に伴う道路復旧工事（3北北・高松町）」です。この表彰は、優良な成績で工事を完成させ、局事業の遂行に貢献した功績を認められた結果です。



(4北南の3)

「路面補修工事」



東京都建設局表彰



(3北北・高松町)

「電線共同溝整備に伴う道路復旧工事」

ALL JAPAN でのリサイクル

モーダルシフトによる CO₂削減



環境事業

各工場から排出された工場系廃棄物は、当社で中間処理を行い、セメント原料となります。セメント原料は全国のセメント工場に運ばれることになります。当社ではモーダルシフト(船舶による海上輸送)に取り組み、環境負荷低減と輸送網の集約化による物流効率化を図っています。

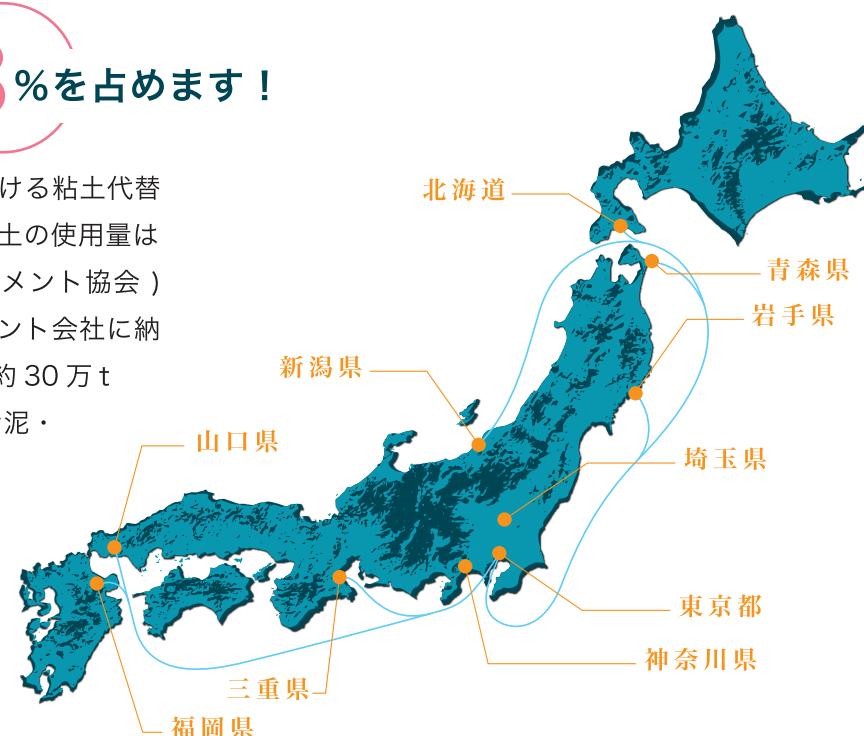
城南島から出荷される汚泥・汚染土壌は全国のセメント工場で

使用される

粘土代替の約 **13%**を占めます！

2022年のセメント生産における粘土代替のうち、建設汚泥、建設発生土の使用量は約224万t(一般社団法人セメント協会)

2022年に当社が全国のセメント会社に納品した汚泥・汚染土壌は年間約30万tつまり当社から出荷された汚泥・汚染土壌は、年間に日本のセメント約13%に使用されています。



環境事業部の新たな取り組み

工場系廃棄物のリサイクル

処理困難とされる製造メーカーから排出される廃棄物のセメント原料化にチャレンジし、最終処分場の延命化に貢献していきます！

製造工場汚泥（無機系）	半導体工場やガラス工場などで排水処理をする際に発生する汚泥
製造工場汚泥（有機系）	製茶工場や製糖工場から発生する汚泥
ふるい下残さ	産業廃棄物の中間処理施設等での選別工程で発生する10mm以下程度の土砂まじりのもの

環境エンジニアリング事業の取り組み

土地の価値を守る仕事

土壤汚染対策工事には、汚染物質の種類や土地の状況に合わせ数多くの方法があります。

対策後の土地の用途を考慮し、現場の状況に適した処理方法を選びます。



Sustainable
Development
Partners



できることから少しづつ SDGs

工場の自販機はカーボンニュートラル（自販機稼働時の電力使用によるCO₂排出実質ゼロ）によりCO₂排出削減。また、自動販売機1台設置ごとに地域への植林を行い地域のCO₂吸収源を広げる活動に参加しています！

● 売上的一部分を大田区社会福祉協議会活動基金に募金しております。



地域社会・地域環境に貢献する企業でありたい

東京都での工事実績多数 5年間で112件！(民間工事を除く)
DX及びICTの活用で、高品質な現場を創りあげています

※●マークは現在、施工中の元請現場です。
※■の部分は過去5年間の元請実績です。



清瀬市 清瀬橋

K.Tさん(31歳)監理技術者

本工事は、東京都における都市計画道路整備方針に基づき新設道路の工事を行っています。道路が完成することにより渋滞の緩和につながります。また、河川の氾濫が起こらないための調整池工事も行っています。調整池は大雨や台風で一気に雨が降った時に一時雨水を受け止めて徐々に放流するための施設です。

ICT建機を使用することで、施工精度が向上し、少人数で施工を行えたため安全性も向上しました。

今回の工事では、街路築造工事から補償代行工事、調整池工事といった幅広い工事をしていくため、多くの知識と経験が増えました。この工事に携われたことを誇りに思っています。



本工事は古くなった舗装・防護柵を撤去し、インターロッキングブロックの設置及び防護柵の設置を行う工事です。工事完成後は、高級感のある歩道に生まれ変わるために、地域の方々にも喜んでいただけるのではないかと考えています。

施工場所の周辺環境が目玉ポイントで、六本木ヒルズ、テレビ朝日、蔦屋書店といった、誰もが一度は目にしたことのあるような施設の目の前で工事を行っています。夜間作業であるため、騒音の問題がどうしてもつきまといますが、はつり作業等の音が大きい作業時には防音パネルを使用しています。やりがいとしては、「東京ストリートヒューマン1st事業」として東京都が選定した27箇所のうちの一つの整備を担うことに喜びを感じています。土地柄により近くに置き場を設けられないため、スケジュールなどの事前の打ち合わせの徹底と、現場従事者皆様のご協力をいただき、最後まで事故なく完工できるよう引き続き尽力してまいります。



港区 六本木
W.Oさん(35歳)監理技術者

建設事業で働く、活躍する女性たち。

建設事業

現場で働くフィールドプレーヤー

工事現場が工程通りに進むように、事前準備や出来形管理、写真撮影などをおこなう。



現場を支援するバックオフィス

事業所で工事現場の写真整理や、品質・出来形管理の書類を作成するなど、現場担当者の書類作成を支援する。

▶Profile

入社 5 年目。入社当初は現場のバックオフィスとして書類作成を行う。入社 3 年目に現場に出て働きたい意思を伝え、現場で働くフィールドプレーヤーに。



Q&A

Q.1 職場の雰囲気はどうですか？

A.1 同世代の社員が多く、和気あいあいとした雰囲気です。

Q.2 仕事をするうえで大切なことは？

A.2 現場を効率良く進めていくために、職人さんと細かいコミュニケーションをとることを意識しています。

Q.3 仕事をしていて、嬉しかったことがありますか？

A.3 初めて自分が関わった現場が完成了した時、モノとなって残ると思うと嬉しかったです。工事が終わっても、その場所を通ると不思議と見てしまします。



Q&A

Q.1 職場の雰囲気はどうですか？

A.1 皆さん優しいので、分からないところがあっても聞きやすいです。

Q.2 仕事をするうえで大切なことは？

A.2 工事終盤はどうしても竣工書類の作成で忙しくなるので、できることを前もってやっておくなど、早め早めの行動を心掛けています。

Q.3 仕事をしていて、戸惑ったことがありますか？

A.3 写真整理をする際に、工事写真の黒板に書いてある専門用語が分からず、とりあえず入力していました(笑)

Congratulation!

大賞受賞しました！

第4回 CCI 東京 若手技術者・女性技術者活躍大賞

都内の建設工事等で活躍している若手技術者や女性技術者を表彰し、より一層、建設業の魅力を発信するとともに、将来の担い手育成と女性の入職促進に資すること目的とした表彰です。

For the future

人的資本に対する取り組み

社員の価値を最大限に引き出すことで企業価値向上をめざす人的資本経営を目指します。そのためにも会社として社員一人ひとりの人生を応援し従業員満足度を高めることで、意欲的に仕事ができる環境の整備と維持に取り組んでいます。

人材データの一元管理により 継続的な人材育成の実現



当社では人事マネジメントシステムを利用して、人事評価や面談記録を積み上げることで個々人の成長を可視化し、効果的な人事戦略を目指します。

- 評価実績・過去評価の可視化 ■人事評価管理 ■個々の面談記録の積み上げ
- 異動の履歴 ■研修の受講履歴 ■目標管理シートの運用

一人ひとりがより活躍しやすい 職場環境の確立を目指します



入社1年目の従業員にはメンター・エルダー制度により年の近い若手社員がマンツーマンでサポートを行っております。当社は若手社員が多く在籍しており、特に施工管理職は20・30代の割合が80%（※）と非常に多いため、身近な先輩が技術の習得と心のケアを行い、新入社員の成長を見守ります。（※）業界平均 44.2歳

- 研修投資全国平均の20倍 ■ジョブローテーション制度
- 厳格な労働時間の管理 ■メンター・エルダー制度
- 健康優良企業 ■女性定着促進

充実した福利厚生により 従業員の人生を応援



従業員持株会制度、企業型確定拠出年金や結婚・出産の祝い金、育休と充実の復帰サポート等、それぞれのライフステージにおいて従業員の人生を応援します。

- 育休と充実の復帰サポート ■資格取得支援
- 従業員持株会 ■確定拠出年金 ■家賃補助 ■結婚・出産祝い金
- レクリエーション費負担 ■慶弔見舞金 ■インフルエンザ予防接種



女性が輝ける職場を目指します

当社では性別に関わらず、仕事も家庭も両立していく環境づくりを会社として応援していくという姿勢を示していきたいと思います。



実際に育休、時短勤務をされている方のインタビュー

育休後は在宅勤務・時短勤務で復帰しました。私は山梨県に在住していることもあり、在宅勤務ができるのはとてもありがたかったです。最初はちゃんと仕事ができるか不安でしたが、徐々に慣れてきて今はスムーズにできています。次に妊娠した時も在宅勤務なら安心して続けられると思います。



1日回数とヨコ

9:00	始業 メール確認 分析項目確認 報告書 証明書作成
12:00	昼休み 分析結果解析 分析結果野帳作成
13:00	
16:00	業務終了

profile 入社8年目 環境エンジニアリング事業部。
結婚を機に山梨県に移住、一児の母。

休業・休暇・短時間勤務支援体制

	妊娠中	産前6週間	出産	産後8週間	1歳	1歳6ヶ月	2歳	3歳	4歳～	1～3年生	4～6年生
産前産後休業											
育児休業											
育児勤務（短時間）											
配偶者出産休暇											
残業配慮											
産後パパ育休											
子の看護休暇											

結婚休暇	連続6日間有給で特別休暇を付与
出産休暇	配偶者は出産日を含めて2日有給で特別休暇を付与
結婚祝金	（勤続年数に応じて）1万円～3万円
出産祝金	（第1子）1万円（第2子～）5千円



ダイバーシティの推進

成友興業では、グローバル採用を積極的に行っていきます。当社は彼らが得た経験、技術、知識を祖国で役立てることができるようサポートし、世界の都市更新に貢献していきます。



Q&A

Q.1 入社のきっかけを教えてください。

A.1 土木の授業で、モノ作りに興味を持ち、将来土木工事の仕事に就きたいと思いました。また、面接の際に社長がおっしゃった「私は社員を大切にする」と言った言葉に心を動かされ、入社を決めました。



1日のスケジュール

- 7:50 出社
- 8:00 朝礼の準備
- 8:30 朝礼
- 9:00 作業開始、施工管理（現場の巡回、写真撮影、測量など）
- 12:00 昼休み
- 13:00 翌日の作業内容の打合せ
- 13:10 施工管理（現場の巡回、写真撮影、測量など）
- 17:00 作業終了（片付け、伝票等整理、着替え）
- 17:15 退勤

Profile 入社1年目
韓国出身
女性施工管理者として日々成長中！

Q&A

Q.1 今大変なことはどんなことですか

A.1 毎日屋外で仕事をするので、夏が一番大変ですが、先輩社員や協力業者さんと協力しながら施工を進めました。

Q.2 目標・チャレンジしたいことはありますか

A.2 今一番の望みは建築士と土木施工管理技士の資格を取得することです。毎日参考書を5ページずつ読んで勉強しています。



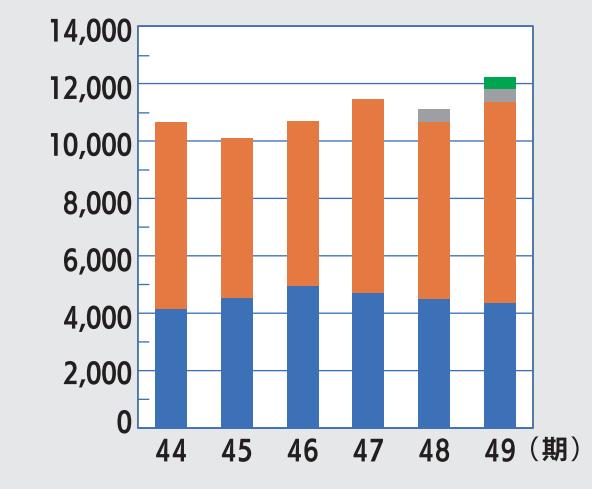
数字で見る成友興業

従業員数

224名

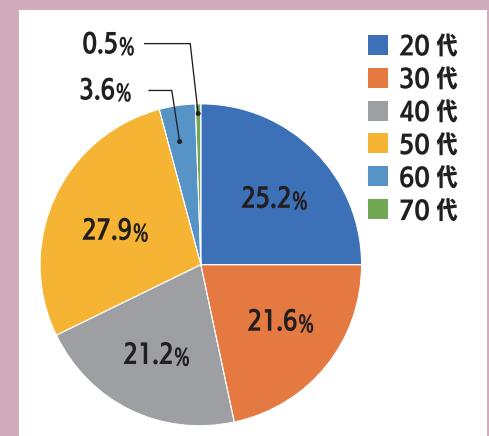


売上高推移



■建設事業 ■環境事業 ■環境ENG ■その他

年代構成割合



平均年齢（技能職を除く）

36.5才

建設 34.1才

環境 35.8才

当社の建設事業部の20代割合は44.9%で、業界平均※12%と比較しても若い世代が活躍できるのが特徴です。（※総務省「労働力調査」を基に国土交通省で算出）



育休取得・復職率
100%

勤続年数5年以上 **167名**

勤続年数10年以上 **77名**

3年内離職率

23.6%

働きやすい環境づくりを進めてまいります！

Since 1975
創立 48年



社員の保有資格一覧（令和5年9月30日現在）

資格名(建設事業有資格者)	人数	資格名(環境事業有資格者)	人数
1・2級造園施工管理技士	6	1・2級舗装施工管理技士	6
1・2級土木施工管理技士	55	東京都1・2種公害防止管理者	2
廃棄物処理技術管理者（中間）	4	エネルギー管理員講習終了者	1
廃棄物処理技術管理者（破碎）	3	1種衛生管理者	5
大気関係第2種公害防止管理者	2	運行管理者	6
水質関係第2種公害防止管理者	2	防火管理者	3
環境計量士（濃度関係）	2	安全管理者	11
土壤汚染調査技術管理者	1	品質管理責任者	1

SEIYU の いろいと TOPICS

清掃ボランティア

当社 HP では随時様々なトピックを更新しております。是非ご覧ください。

成友興業株式会社
(seiukogyo.co.jp)



オフィスサイネージを導入しました

液晶ディスプレイを各事業所に設置し、毎月社内全体にサイネージを通して情報を発信しています。社長から社員へ向けたメッセージをはじめ、お誕生日のお祝いや社内イベントの様子、表彰等を掲載しています。



「スポ GOMI 大会」 第三位に入賞しました！

福生七夕まつりにて実施された、制限時間内にごみを拾い、その質と量で競い合う地球に優しいスポーツ「スポ GOMI 大会」に当社社員でチームを作り参加しました。結果は第三位に入賞しました！今後も社会活動に積極的に参加してまいります。

福生七夕まつり × スポ GOMI 大会



東京都中小建設業協会 経営者講習会にて 細沼社長が講演を行いました

「魅力ある建設業をつくるために - 働き方改革に向けた当社の取り組み内容 -」をテーマとして細沼社長が講演を行いました。当社は ICT 施工の活用はじめ、労働時間管理の徹底など若手職員の定着や働き方改革に向けて様々な取り組みを行っています。未来の魅力ある建設業界の一翼を担えるよう今後も邁進してまいります。



レクリエーション 費用の支給

社内コミュニケーションの活性化や組織活性化を目的に年4回支給されます。所属部署同士で使うのもよし、他部署の同年代同士で使うのもよし、BBQに使うのもよし、普段関わりのない人とも仲良くなるチャンスです。



当社の取り組みが掲載されました

株式会社環境新聞社より書籍が出版され、当社の取り組みが掲載されました。

【タイトル】「建設業廃棄物革命 - 循環経済を先取りする企業の挑戦 -」 杉本裕明著

【書籍内容】廃棄物処理業界に焦点を当て、厳しい時代を生き抜き、どうビジネスチャンスに結び付けるか、それに応える一冊です。是非ご一読ください。



東京ビエンナーレ

2年に1度、「東京」のまちを舞台に開催される「国際芸術祭東京ビエンナーレ 2023」に当社のコンクリートがれきが使用されました。

展示名 ブシュラ・トゥンチ+ケレム・オザン・バイラクター《靈異の庭園》



Create the Future

当社は、1975年に創業し、常に時代の変化や顧客の皆様のニーズにお応えすべく、インフラの施工・管理の「建設事業」、廃棄物の収集運搬から中間処理・再資源化といったサスティナブルな「環境事業」を事業の中核に据え、さらに両事業を強化するため、土壤汚染対策工事や調査・分析を行う「環境エンジニアリング事業」のワンストップ体制を確立させてまいりました。

当社の建設事業では、働き方改革に対応するため、他社に先駆けてICT施工の推進やバックオフィスの強化など対応施策を進めてまいりました。その取り

組みが評価され、2023年11月に第二回建設人材育成優良企業表彰にて、国土交通大臣賞を受賞しました。昨年の優秀賞に続き、2年連続での受賞となりました。今後も継続して、従業員一人一人の声に耳を傾け、働き方改革に取り組んでまいります。

当社環境事業である静脈産業が担う役割は、以前にも増して期待されております。当社の施設が所在している東京都は、人口や経済活動が集積し都市更新が常に行われており、資源やエネルギーの大量消費場所であり廃棄物の大量排出場所でもあります。

当社では、廃コンクリート塊を年間約35万トン、建設汚泥等は、年間約47万トンを中間処理し優良な建設資材としてリサイクルを行っています。廃棄物を資源として捉え、高度な中間処理等により限りなくリサイクルすることは、静脈産業に課せられた責務であり、さらには再資源化後の製品や原料を製造するメーカー企業への変革が重要と考えております。2023年10月東京証券取引所では、正式にカーボン・クレジット市場が開設されました。カーボンニュートラルへのシフトを成長の機会と捉え、CO₂固定化の可能性の高い再生碎石・

再生骨材の普及に向け、信頼できるパートナーとともにプロジェクトに積極的に取り組んでまいります。

2023年10月13日に、名古屋証券取引所メイン市場に新規上場を果し、2025年には創立50年を迎えます。これはひとえにお客様、取引会社の皆様をはじめ全てのステークホルダーの皆様のご支援の賜物であると深く御礼申し上げます。

株式上場の目的の一つには、「企業の存続」であり、次世代が安心して事業を継続していくための会社づくりが根底にありました。この上場を契機に、これまで以上に優秀な人材を育成するとともに、働きやすい職場づくりにより、従業員のエンゲージメントを高め、持続可能な社会づくりに還元するため、グループ全体でのさらなる成長を目指してまいります。

TOP MESSAGE

地域社会と
地球環境に
貢献する



成友興業株式会社
代表取締役社長
細沼 順人

企業理念

Think Ahead

地域社会と地球環境に貢献する

成友興業株式会社グループ企業行動指針
当社の使命は、都市更新に伴い排出される廃棄物を可能な限り優良な製品として社会に還元し、地域社会と地球環境に貢献しながら都市更新を下支えしていくことです。



商号	成友興業株式会社
設立	昭和 50 年 3 月 12 日
本社	東京都あきる野市草花 1141 番地 1
資本金	293,775 千円
事業内容	・建設工事業・産業廃棄物処理業 ・汚染土壌処理業 ・再生建設資材生産販売事業 ・運送事業
従業員数	224 名 (2023年9月現在)
子会社	成友セキュリティ株式会社 (東京都福生市福生 699 番 3) 令友工業株式会社 (東京都あきる野市草花 1141 番地 1)
連結売上高	12,262 百万円 (2023年9月期)

事業所一覧	
東京本店	(東京都中央区)
多摩西事業所	(東京都あきる野市)
多摩北事業所	(東京都武蔵野市)
城東事業所	(東京都墨田区)
埼玉西営業所	(埼玉県所沢市)
あきる野工場	(東京都あきる野市)
城南島第一工場	(東京都大田区)
城南島第二工場	(東京都大田区)
福生営業所	(東京都福生市)
東京南営業所	(東京都大田区)

CO₂削減目標

より高度な e Synergy System (事業活動) を構築するため、二酸化炭素排出削減目標を制定し脱炭素の取り組みを推進します。

当社の環境事業のあきる野工場および城南島第一工場では廃コンクリート塊を受入れ、年間約 35 万トンを破碎処理し、主に道路の路盤材となる再生碎石を製造しております。

コンクリートに含まれるセメントは、二酸化炭素を固定化できるカルシウム分を多く含み、現在国立研究開発法人の NEDO (新エネルギー・産業技術総合開発機構) にて、様々なプロジェクトを通じ、社会実装に向けて研究・開発が進められております。

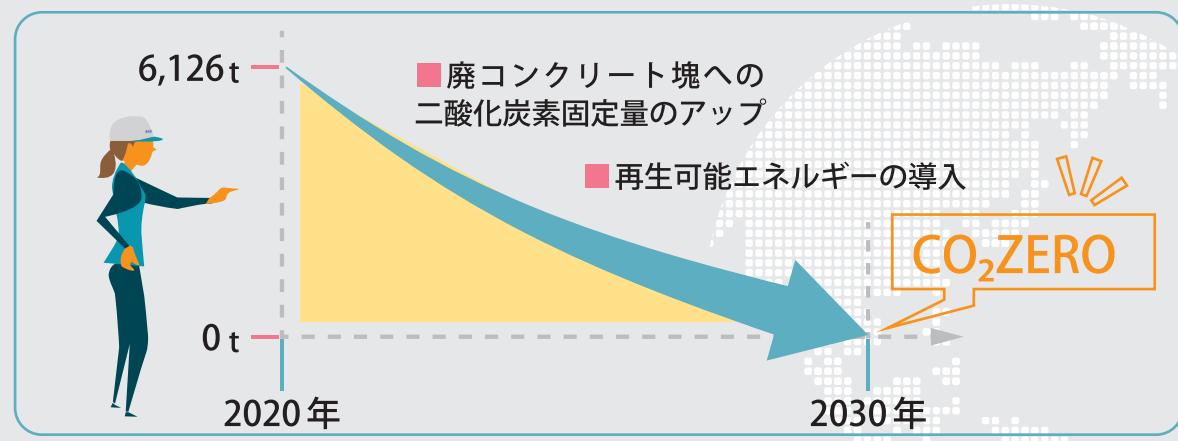


気候危機に直面する今、「脱炭素化」への速やかな移行が不可欠。CO₂を資源として有効活用するカーボンリサイクルを推進しています。

【CO₂削減への施策】

破碎処理により、二酸化炭素が未吸着の部分が表面に露出することにより、二酸化炭素の自然吸着が進みます。固定化率 1%とした場合、既に年間約 3,500 トンの CO₂を固定化しております。自然吸着に加えて固定化技術を用いた合計 2%の二酸化炭素の吸着・固定化など更なる脱炭素の取り組みを推進し、カーボンゼロを目指します。

これからも当社は、多様なパートナーと共に創り、脱炭素への取り組みを積極的に行い、次世代に求められる新たな価値を追求し続けてまいります。



株主・顧客の皆様との対話

基本方針

企業価値の継続的な向上を実現するために、効率的かつ公正で透明性の高い経営及び経営監視機能の強化とともに法令遵守の徹底及び迅速かつ正確な適時開示により、株主、顧客、社会および従業員等のステークホルダー各位から信頼される企業をめざしております。



IR サイト

<https://seiyukogyo.co.jp/ir/>



コーポレート・ガバナンス報告書

利益配分の基本方針

株主の皆様へ利益還元を経営上の最重要課題のひとつと考え、今後の株主への剩余金の配当につきましては、業績の推移、財務の状況、今後の事業・投資計画などを総合的に勘案し、内部留保とのバランスを取りながら、配当性向 30% 程度を目指して、配当による株主への利益還元を安定的かつ継続的に実施する方針です。

1 株当たり当期純利益	271.61円
1 株当たり配当金	50円
配当性向	18.4 %
自己資本当期純利益率	9.13 %
純資産配当率	1.6 %

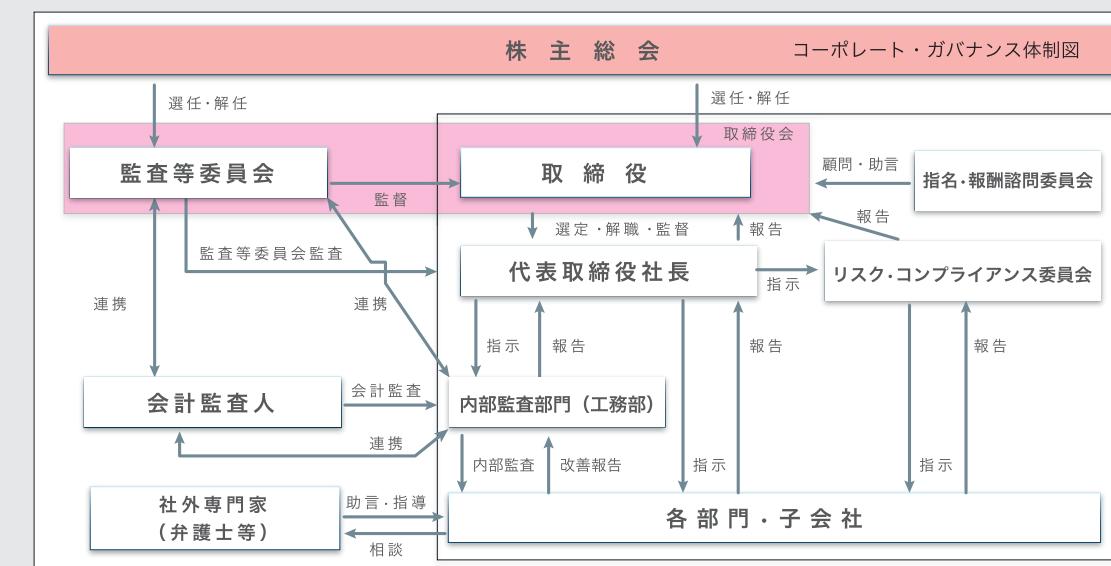
2021年11月2日付けでパートナーシップ構築宣言をいたしました。パートナーシップ構築宣言とは、企業規模の大小に関わらず、企業が「発注者」の立場で自社の取引方針を宣言する取り組みです。「大企業と中小企業が共に成長できる持続可能な関係を構築するために！」の趣旨に賛同し、未来を拓く一助になるように尽力します。



Governance

コーポレートガバナンス体制の概要

組織形態	監査等委員会設置会社	
取締役 (監査等委員である取締役を除く)	取締役の人数	4名 (社外取締役1名、女性取締役1名)
	取締役の任期	1年
取締役会を原則として毎月1回開催して迅速かつ効率的な意思決定を行うとともに、毎年選任される執行役員が社長の指揮・命令のもと、担当業務の執行を行う体制としています。		
監査等委員である取締役	全委員	3名
	常勤委員	1名
	社外取締役	2名
取締役会等の重要会議への出席、重要書類の閲覧、社長との定期会議をもつほか、原則として毎月、監査等委員会を開催し監査意見の交換を行っています。また、年間監査計画に基づき、常勤の監査等委員が社内各部門他への往査を行っています。		
内部監査	内部監査部門が、業務部門から独立した公正・不偏の立場で内部監査を行い、関係会社を含む内部統制の推進・改善に取り組んでいます。	
会計監査	監査等委員会及び内部監査部門とも緊密な連携を保ち、監査計画及び監査結果の報告とともに、期中においても必要な情報交換および意見交換を行い、効果的かつ効率的な監査を実施しています。	
リスク・コンプライアンス委員会	原則毎月1回開催し、全社的・統括的なリスク管理の報告及び対応策検討の場と位置づけています。	
指名・報酬諮問委員会	社外取締役を委員長とする社外取締役3名と代表取締役社長で構成される指名・報酬諮問委員会により取締役の指名及び報酬等に関する手続きの公正性・透明性・客觀性を強化し、コーポレート・ガバナンスの充実を図っております。	





安全への取り組み

安全規則とドライブレコーダーによる安全教育

通勤時、もしくは現場へ自動車で移動する際の規則として「成友興業安全運転規則」、ドライバー職に対しては独自の「プロドライバーとしての安全運転 10 則」を定め、安全運転を徹底しています。また、安全の向上を図ることを目的として、全てのダンプトラックにドライブレコーダーを設置し、運転状況を記録しています。その記録は、安全担当者が常にチェックするとともに、安全運転の研修材料として活用することで、安全運転への意識を高めています。また、ダンプトラックだけではなく営業車両へのドライブレコーダーの導入も進め、ほぼ全車両に導入されています。

機械整備や重機等の整備・点検

安全作業を行うためチェックリストを用いて機械設備、重機の整備点検を行っています。ダンプトラックについては日常点検をはじめとした整備・点検を行うことで、整備不良事故ゼロを目指し、安全運転に努めています。



安全推進大会

各事業所では、安全衛生に関する協議会を毎月実施しています。また年に一度、社員と成友興業安全衛生協力会会員との合同安全推進大会を開催しています。2023年6月12日にTKPガーデンシティPREMIUM京橋にて社員および協力会社等総勢約180名出席のもと、社長訓示、安全講話、安全表彰者の発表、安全宣言などを行いました。

「成友興業安全運転規則」

- ・かもしれない運転の徹底
- ・右左折時最徐行
- ・車間距離 0102
- ・バックは急ぐな先ず確認

「プロドライバーとしての安全運転 10 則」

1. 法定速度・制限速度の遵守
2. 飲酒運転の禁止
3. 一時停止は止まれ・右左折時最徐行
4. 車間距離の確保 0102
5. 停止車間距離は一車長確保
6. 信号機・黄色は止まれ
7. 停止時はサイドブレーキを確実に引く
8. 無線機の私語は厳禁
9. バックは先を急ぐな先ず確認
10. かもしれない運転の徹底



防災対策(訓練)

2023年は東京本店にて訓練を行いました。火災を想定して非常口より正面入口に避難し、消化訓練、AEDの使用方法の確認を行いました。防災には「地域との連携」が重要であるという考え方から地域の防災訓練に積極的に参加しています。

2021年は城南島事業所にて緊急事態対応訓練を行いました。地震・火災発生を想定して、正面斜路に避難し出勤者の確認、本社に連絡、津波を想定して避難場所の確認を行いました。改めて、震災の恐怖を再確認し、建設業ではどうやって防災対策をしていくか考えるきっかけとなっています。いつ起るか分からない火災などにも適切な対処ができるように学ぶことができました。また、万一の場合に備え、全事業所にAEDを導入し、入口に設置する等、近隣の皆様も使用できるようにしています。



アルコールチェック

2022年4月から道路交通法施行規則の改正に伴い、白ナンバーの社有車を運転する者に対しアルコールチェックが義務付けられました。“IT点呼”を用いてチェックしている写真を示します。免許証をかざせば、チェック画面が起動し、息を吹きかけてアルコールの有無を測定します。状況写真や測定時間等を記録するソフトです。当社では、アルコールチェックを始業前及び終業時に安全運転に努めています。



避難場所の提供

本社では、あきる野市青少年健全育成地区委員会が取り組んでいる「がくどうひなんじょ」事業での緊急避難場所となっています。子供たちが犯罪に巻き込まれそうになった時や困ったことが起きた時は避難できるように正面玄関にプレートを設置しています。また、大雨災害時における地域自治会の一時避難場所にもなっています。地域の皆様の安心・安全な生活の為に尽力しています。

安全標語

毎年、安全標語の募集・表彰が行われ今年は109点の応募の中から最優秀賞1点、優秀賞3点が選ばされました。選ばれた標語は旗などにして現場内に貼り出し、注意喚起に役立てています。

最優秀賞 **心せよ！慣れた作業が事故のもと 気づく危険で築く安全」**

災害対策協定及びBCP(災害時の事業継続計画)

当社では、平成25年に東京都産業労働局の支援のもとでBCP(災害時の事業継続計画)を策定しました。平成30年には国土交通省関東地方整備局で推進している「建設会社における災害時の基礎的事業継続力認定」を受け、現在までに維持しています。当社は関東地方整備局より基礎的事業継続力認定企業として、認定された企業です。(認定番号 Ktr15_057) 当社のBCPは、発災時に社員及びその家族の安否確認を行うとともに、国道事務所や各地方自治体と締結している災害対策協定に元づく被災地の道路啓開を率先して行い、近隣住民の皆様の利便を図ることを主目的としています。

認定企業一覧▶



有識者意見

成友興業は、光っている企業である。どうしてかな、と考えてみると、SDGsに果敢に取り組んでいくトップの意向をしっかりと社員の一人一人に浸透させ、働きやすい環境を整えていることにあるのではないかと思う。城南島にある工場へは、何度か見学にお邪魔させていただいているが、働いている人の顔が明かるいことに気づかされる。自分の役割を理解して何をすべきかを考えながら行動していることがうかがえる。安全確保、女性活躍、働き方改革など社員向けに行っていることの数々は、このCSR報告書に毎年度紹介されているとおりであるが、会社として明確にそうした方針を立てて、しっかりと取り組んでいるというのは、できそうでいてなかなかできないことである。

現在、コロナ後の世界は、ウクライナ問題やガザ地区の紛争を解決できず、混迷が続いている。米国の経済軟着陸のための金融引き締め政策によると言われている円安も続いている。日本社会全体が好景気で沸いたりといったことも起こらなくなってしまったが、社会は絶えず変化し、変化するところに妙味が生まれていることも確かである。

成友興業は、変化を起こせる企業であるし、変化を見つけられる企業である。それは、企業理念が正しい方向を向いているからだと思う。軸がぶれていないことにより、変化に対応できるのだ。周囲と同じように漂っているだけでは、変化を感じ取ることすらできないということである。

おりしも、政府が、脱炭素と動静脈連携による循環経済成長の旗を振っている。成友興業がどういった成長を遂げていくのか、大いに期待されるところである。



公益社団法人
全国産業資源循環連合会
専務理事 室石 泰弘

編集方針

本レポートはすべてのステークホルダーに当社の活動をご理解いただくことを目的とし、当社の社会的課題への取り組みとその結果を総括するとともに、目指すべき方向性についても掲載しております。それぞれの項目において当社の事業活動をSDGsの観点から捉え、総合的な企業情報を伝えするように心がけました。是非とも、巻末に添付したアンケートにご回答いただき、本レポートをお読みになったご感想やお気づきの点など忌憚のないご意見をお寄せいただきたく存じます。今後とも読者の皆様を含めたステークホルダーの方々の視点を意識し、継続的な業務改善や資質向上を通じて持続可能な企業活動に努めてまいります。

アンケートにご協力のほどお願いいたします

アンケートフォーム
こちらより→



- 対象期間 2022年10月1日～2023年9月30日（一部期間外の情報を含む） ▪ 発行日 2024年2月
- 将来見通しに関する注意事項 本冊子に記載されている現在の計画、予測、戦略などには、資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した将来見通しが含まれています。
- お問い合わせ先 成友興業株式会社 経営企画部 〒104-0031 東京都中央区京橋2-13-10京橋MIDビル4階
TEL:03-3538-4111 FAX:03-3538-4002 E-mail:info@seiyukogyo.co.jp



マテリアルバランスとは

当社プラントでは、電力や燃料と言ったエネルギー資源を消費して事業を行っています。事業活動に伴うエネルギーや、物質の収支を明示することで、**事業活動の環境負荷や課題を明らかにすること**が出来ます。

工場におけるモニタリング

当社プラントは、地元自治体と安全保全協定書を交わし協定に基づいて公害防止策として**定期的な環境モニタリング**に努めています。

安全パトロール

成友興業安全衛生協力会とともに、協力会パトロールを月1回実施しています。安全の3つの約束、「1. 整理整頓」「2. 段差解消」「3. 危険箇所の見える化」等をはじめ、細かく現場の安全衛生等をチェックしています。さらに安全担当者が月1回、下請け現場を含む全ての稼働現場に対し個別の現場パトロールを行い、適切な危険防止措置が取られているか等も確認しています。是正箇所があれば速やかに情報を伝達し、事故の発生、災害の防止に努めています。また、毎月の現場パトロールの他に、役員によるパトロールや安全大会などを定期的に実施し、**社員全体の安全意識の向上**に努めています。



ISOシステム認証

ISO(国際標準化機構)により策定された品質マネジメントシステム規格及び環境マネジメントシステム規格に基づき、マネジメントシステムを構築し運用しています。品質及び環境マネジメント規格についても、日本品質保証機構(JQA)の第三者審査の結果、新規格への適合認証も得られました。今後も、顧客のニーズと期待に応え、環境保全に貢献するべくマネジメントシステムを活用し、継続的な改善活動を会社全体で図りながら企業価値の向上につなげていきます。

